

L2-Tech制度の位置づけと概要

平成27年度L2-Tech制度・システム等構築委託業務

デロイトトーマツ コンサルティング合同会社

L2-Tech制度の概要と位置づけ

- 1 趣旨と背景
- 2 環境省におけるL2-Tech制度の位置づけ
- 3 L2-Techにおける技術・製品情報の構成
- 4 L2-Tech認証取得のメリット
- 5 L2-Tech制度のスケジュール
- 6 平成27年度の事業スケジュール

「2050年80%削減」を実現するために先導的な低炭素技術の普及促進が必要

① 趣旨と背景

「地球一個分」という環境制約の下、大量生産・大量消費型の社会から脱却し、国民一人ひとりが真に豊かな低炭素社会を実現し、**2050年までに80%**の温室効果ガス**排出削減を実現**するためには、エネルギー起源二酸化炭素の排出が極めて少ない**先導的な低炭素技術の普及促進**が必要です。

平成26年3月、環境大臣が「L2-(エルツー)Tech(テック)・JAPAN(ジャパン)イニシアティブ」を発表しました。この取組は、二酸化炭素排出削減につながる先導的低炭素技術に関する情報を整備するとともに、国内外に発信して技術を導入する際の参考として頂き、大幅なエネルギー起源二酸化炭素の排出削減を推進し、低炭素社会の構築をめざすものです。

中長期目標

- **2030年**
約束草案の目標
国内の排出削減・吸収量の確保により、2030年度に2013年度比 26.0%の水準にする
- **2050年**
第4次環境基本計画
長期的な目標として2050年までに80%の温室効果ガスの排出削減を目指す

環境省におけるL2-Tech制度

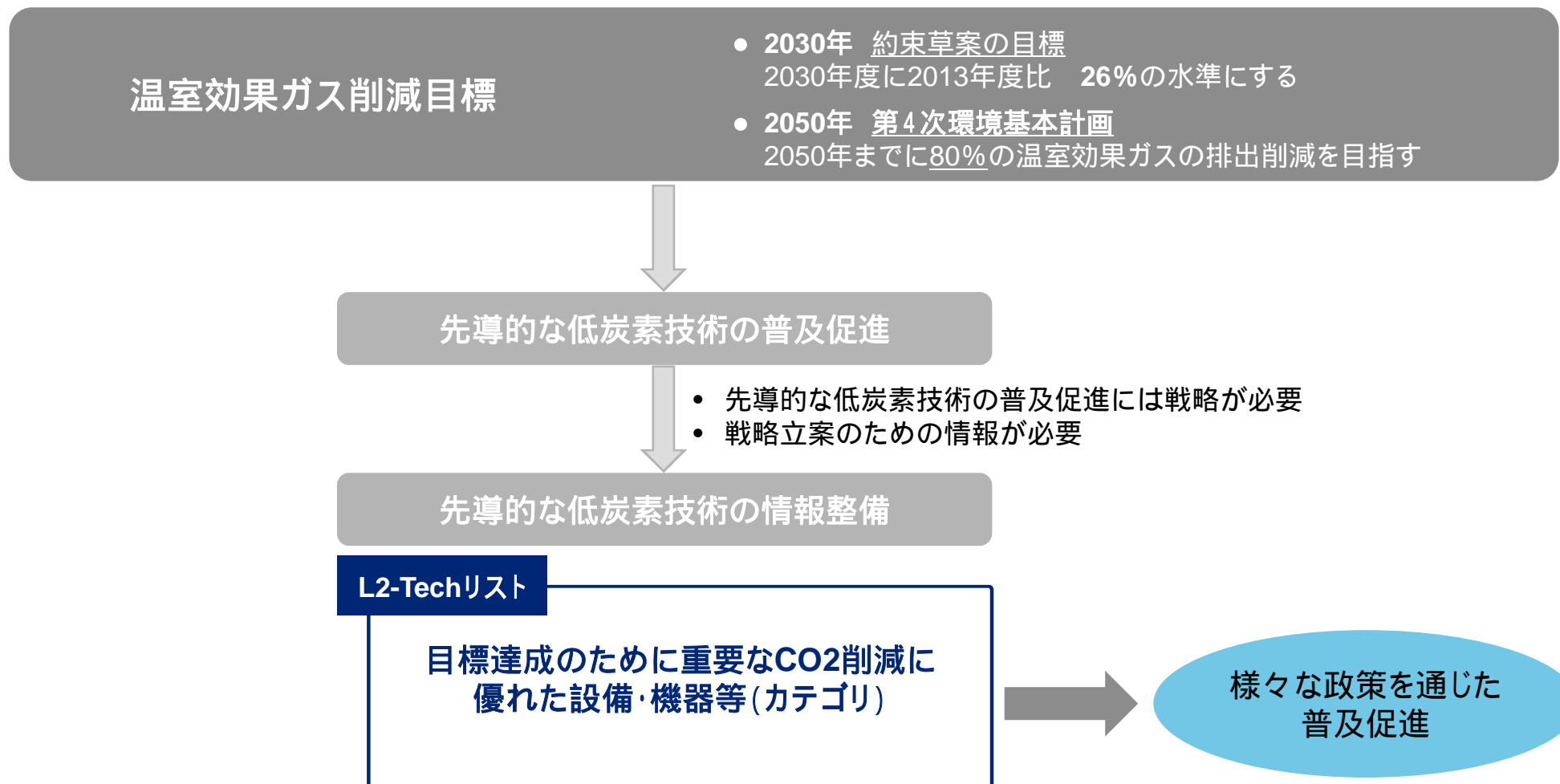
L2-Tech制度の方針

ベストを追求する発想でエネルギー効率等が極めて高くCO2削減に最大の効果をもたらす技術を特定し、普及促進する

- **2014年3月**
L2-Techイニシアティブ発表
- **2015年3月**
平成26年度L2-Techリストの公開
- **2015年10月**
L2-Tech2015年度夏 認証製品リストの公開

目標達成のためにCO2削減に優れた設備・機器等の情報整備が必要

② 環境省におけるL2-Tech制度の位置づけ 1/2



CO2削減に優れた設備・機器等(特にL2-Tech認証製品)の普及を促進する

2 環境省におけるL2-Tech制度の位置づけ 2/2

情報整備

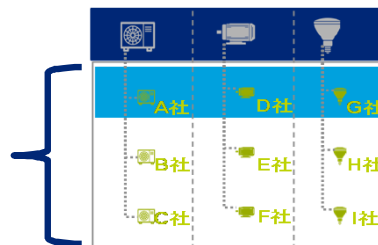
L2-Techリスト

2050年80%の目標達成のために重要なCO2削減に優れた設備・機器等(カテゴリ)

製品
認証

普及促進(情報発信、情報収集、認証等)

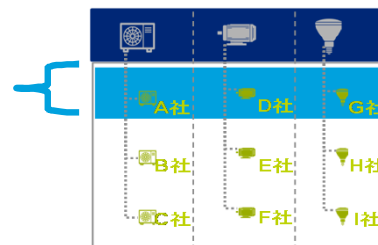
2050年80%の目標達成のために重要な“CO2削減に優れた”設備・機器等を支援



- 設備・機器等(カテゴリ)と評価指標及びその最高水準について公表(情報発信)
- リストに掲載されていないCO2削減に優れた設備・機器等の情報収集窓口の設置(情報収集)

[L2-Tech認証製品一覧]

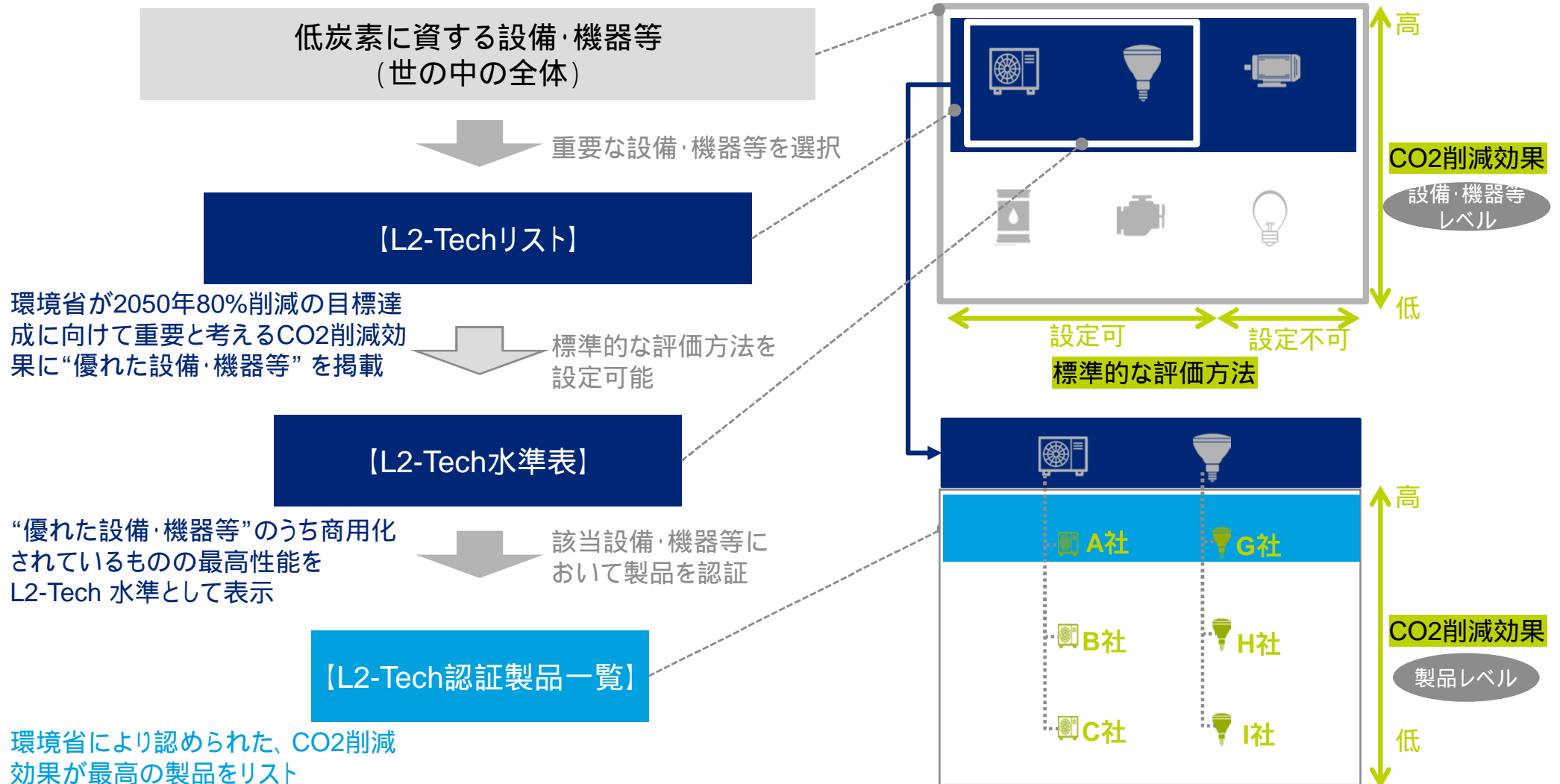
“CO2削減に優れた”設備・機器等の中でベストの製品を支援



- 環境省によりCO2削減効果が最高水準の製品であることを認証
- 認証製品のメーカー名、製品名、型式を公表(情報発信)
- リストに掲載されていないCO2削減に優れた製品の情報収集窓口の設置(情報収集)
- L2-Tech認証製品導入を重点的に支援

L2-Techリストとは、環境省がCO2削減に重要と考える設備・機器等(カテゴリ)のリスト
L2-Tech認証製品一覧とは、L2-Techリストの中で、当該年度でCO2削減効果が最高の製品リスト

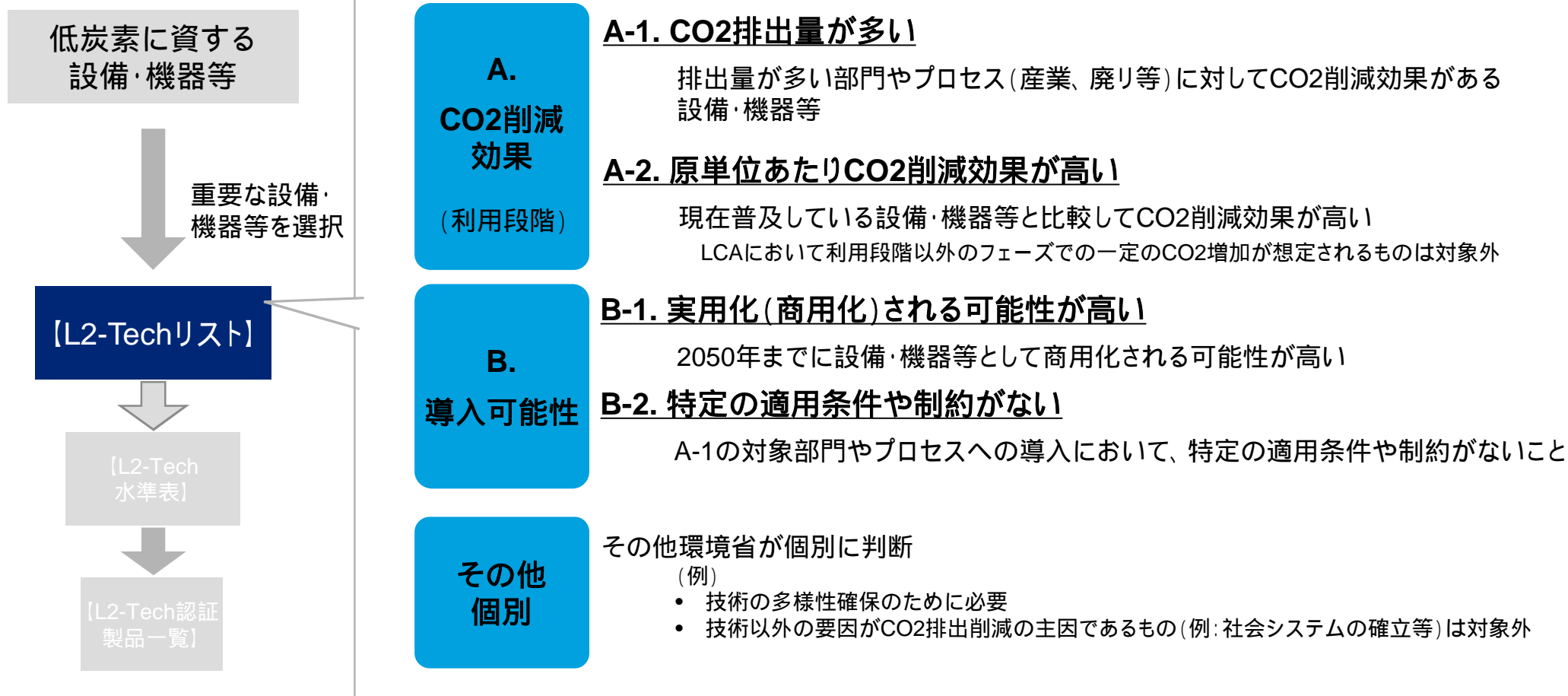
3 L2-Techにおける技術・製品情報の構成



“2050年80%削減に重要な設備・機器等”を削減効果と導入可能性の観点で選定

L2-Techにおける技術・製品情報の構成 (L2-Techの選定観点)

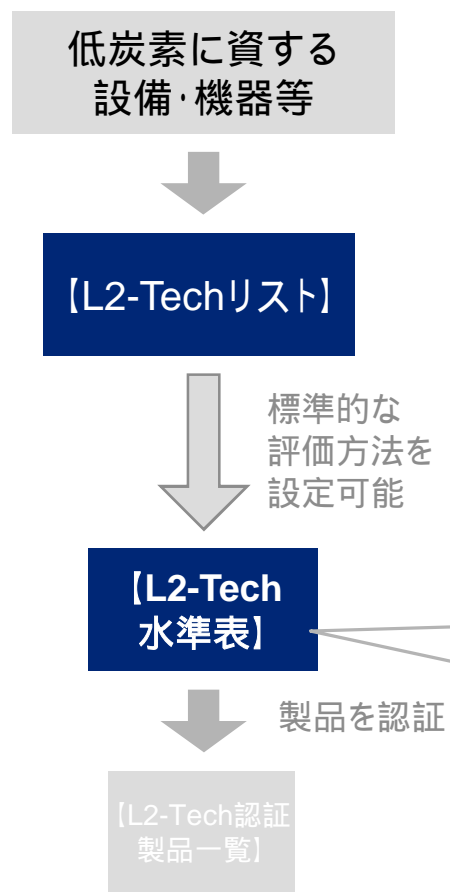
環境省が2050年80%削減の目標達成に向けて重要と考えるCO2削減効果に優れた設備・機器等



部門や技術分野において下記以外の個別の条件を適用しているケースもある

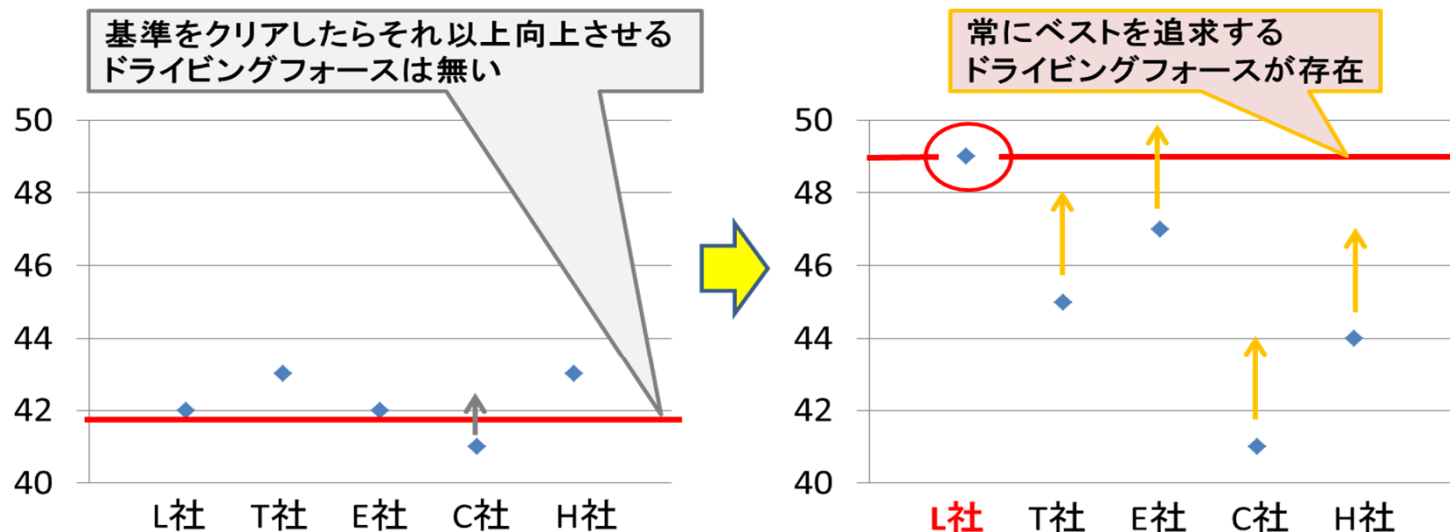
該当設備・機器等の中で最も高い性能をL2-Tech水準とする

L2-Techにおける技術・製品情報の構成 (L2-Tech水準の考え方)



L2-Tech水準の設定

- 商用化されている設備・機器のうち、実現されている最高効率をL2-Tech水準とする。
- 環境省として当該時点において目指すべき「ベスト」を発信するための水準とする。



「基準クリア型」のイメージ
(基準の固定化・受動的)

「ベスト追求型」のイメージ
(基準の流動化 (L2-Tech 水準)・能動的)

L2-Tech水準の更新

- L2-Tech水準は毎年度更新を行う (1 ~ 2回/年)
- 将来的にはL2-Tech水準の随時更新を目指す


リスト更新と認証とのタイムラグ等により、複数のL2-Tech製品が認証されることがある
将来的には随時更新により1つの製品のみが認証されることを目指す

様々な利用者へのアプローチにより認証製品の導入を促進する

④ L2-Tech認証取得のメリット : L2-Tech認証製品の利用者を通じた普及促進

L2-Tech製品における利用者へのアプローチ

設備・機器等	L2-Tech2015製品
ガスヒートポンプ	A社 XYZ123A-4
...	...
...	...



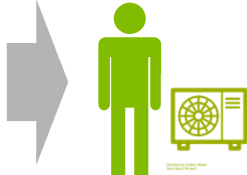
【より広く認知される】

- 環境省ホームページで認証製品リストの公表や関連報道機関への発表等(年1,2回)される。
- 環境省の様々なイベント、会議等において活用(認証製品一覧の紹介等)される。

【後押しを受けていることをアピールできる】

- 「環境省が当該年度のCO2削減効果において最高水準であることを認証した製品」であることを広報に活用できる。
名称使用に関する規則を順守のこと

製品の実証・導入等に対する支援



【環境省の様々な事業で活用、支援が期待される】

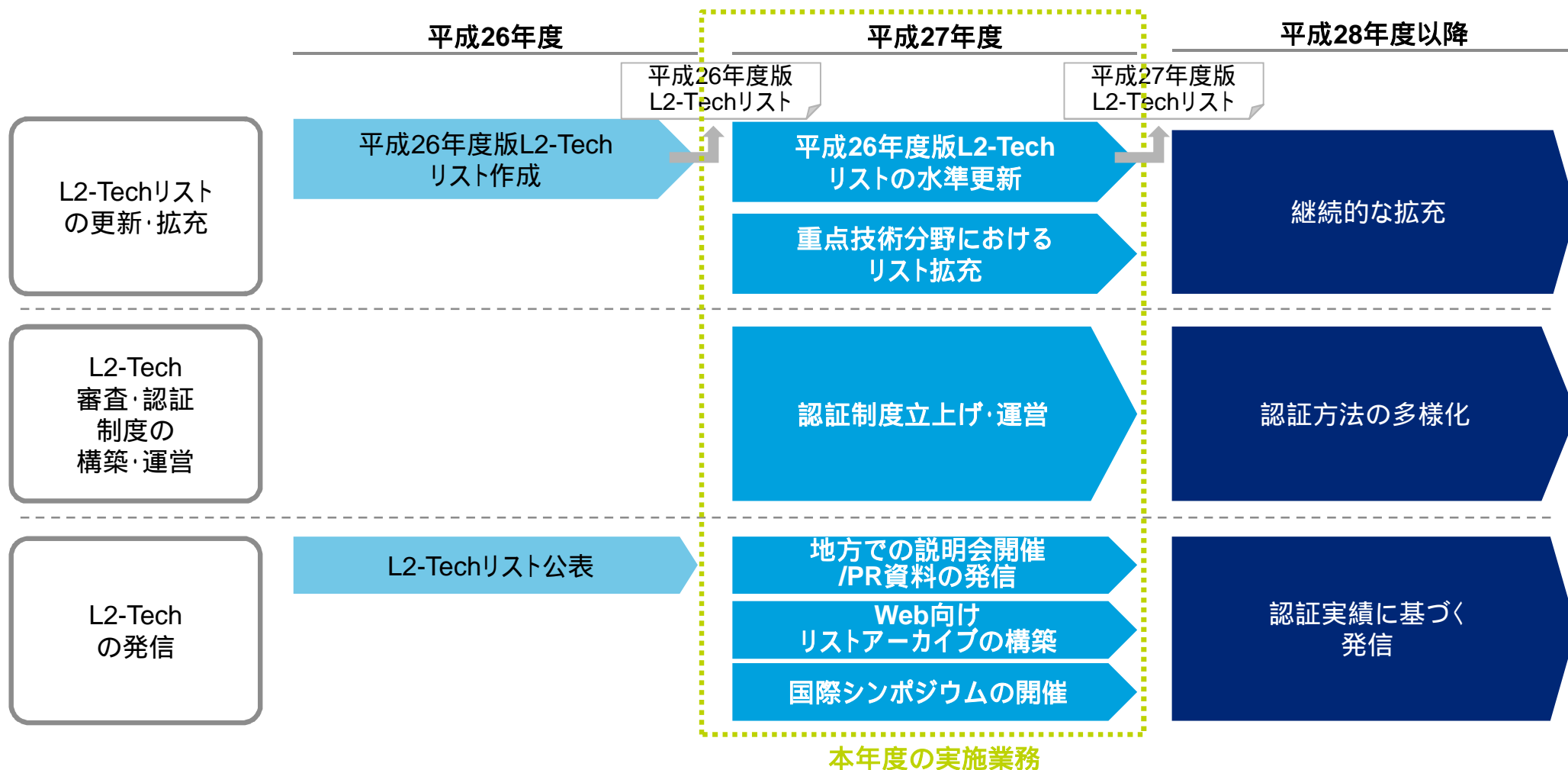
- 環境省の様々な設備・機器等の実証・導入支援事業において参照される。
- 利用者に対する導入、運用の支援強化(事例の共有化等)

利用者による導入プロセス



水準更新・製品認証(年1回以上)、リスト拡充、認証制度の充実を継続的に行う

5 L2-Tech制度のスケジュール



本年度に拡充・更新したL2-Tech水準表を用いて審査・認証を行う

⑥ L2-Tech制度のスケジュール



: L2-Techリスト / L2-Tech水準表



: L2-Tech認証製品一覧

